

平成 30 年 9 月 28 日

学校関係者評価報告書

自己点検報告書に基づき、学校関係者評価委員会において、次のとおり評価した。

(評価委員)

米川委員 (関大北陽高校) 上山委員 (大阪高等学校) 酒井委員 (さかい鍼灸院・卒業生)
左海委員 (教員養成学科長) 清藤委員 (鍼灸学科長) 三澤委員 (副校長・柔整学科長)
田口委員 (教務部長) 藤井委員 (事務局長) 森委員 (総務部長)

(評価区分)

5 極めて適切に行われている 4 適切に行われている 3 普通
2 適切にややかける 1 適切でない NA あてはまらない

評価項目		評 価	
基準 1 教育理念・目的・育成人材像等			
1-1	理念・目的・育成人材像は定められているか	学則を含め、適切に定められている。教育課程が変更されたことにより、学科毎の人材育成像を明記してはどうか。	3
1-2	学校の特色はなにか	ホームページ、パンフレット等を通じ、学校としての特色を打ち出し、公表されている。	3
1-3	学校の将来構想を抱いているか	はり師、きゅう師、柔道整復師の入学者の減少に伴い、新学科の設置、専門職大学への移行等の検討を進めている。	3
基準 2 学校運営			
2-4	運営方針は定められているか	役員会を通じ、明確に定められている。	4
2-5	事業計画は定められているか	役員会を通じ、明確に定められているが、定員充足率の向上については、目標数値に到達していない。	4
2-6	運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	学院組織及び運営規則に基づき、明確に実施されている。	4
2-7	人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	各個人の目標管理に基づき、人事評価に取り組んでいる。しかしながら、学校に対する業務の貢献度、職務の遂行度や業績、能力などを一定の基準で、査定する処遇整備はできていない。	3
2-8	意思決定システムは確立されているか	学校管理組織図は明確に整備されており、意思決定システムは確立されている。	4

2-9	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	LAN構築により、業務の迅速化、効率化が図られている。また、校内にwifi環境の整備ができています。	4
基準3 教育活動			
3-10	各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	教育課程の変更に伴い、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー等を学科毎で検討し、具体的な育成人材像を定める必要がある。	3
3-11	各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか	業界等との連携を強化し、科目間の連携を行い、業界の人材ニーズレベルにあわせ、知識、技術、人間性の修得にむけて、取り組む必要がある。	3
3-12	カリキュラムは体系的に編成されているか	カリキュラムは、社会のニーズに基づき、定期的な検討委員会等を開催し、体系的に編成されている。	4
3-13	学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	科目間の連続性を意識し、積み上げ方式とするカリキュラムが構築されている。	3
3-14	授業評価の実施・評価体制はあるか	専任教員の授業科目について、授業評価アンケートを実施し、評価体制は整備されている。今後は、非常勤講師担当科目にも、対応することが望ましい。	3
3-15	育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	F D研修会の実施や専門分野における研修会等への参加により、教員の資質の向上に努めている。	3
3-16	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	学則に基づき、明確に定められている。	5
3-17	資格取得の指導体制はあるか	医学演習の科目として実施し、試験結果に基づき、成績不良者に対し、個別に指導を行う支援体制に努めている。	3
基準4 教育成果			
4-18	就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	定期的な就職説明会、就職相談会を実施し、就職に対する意識の改善に努め、就職率の向上に取り組んでいる。	3
4-19	資格取得率の向上が図られているか	合格率向上に向け、成績不良者に対する個別補講の実施などフォローアップに取り組み、昨年度に比較し、柔整学科は向上が図られた。	3
4-20	退学率の低減が図られているか	クラスアドバイザー、科目担当者、教務課で連携しながら、出席・成績状況等を基に、早期対応を行い、退学者の抑制にむけて取り組んでいる。	3

4-21	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	卒業生の活躍等について、一部把握ができてい る。卒業生との連携により、卒業生の詳細な情 報の把握に努めなければならない。	3
基準5 学生支援			
5-22	就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	相談・指導体制は整備されているが、学生自身 の就職に対する意識が低い。	3
5-23	学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	学生課を中心にクラスアドバイザーと連携し、 学生相談・指導体制に早期に取り組み、有効に 機能している。	3
5-24	学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能 しているか	奨学金制度が周知徹底され、逐次、相談に対応 できている。	3
5-25	学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	附属治療所を開設しており、健康管理体制は充 分整備されている。また、大学附属のクリニッ クが開設されたことにより、医師及び看護師が 常時、配置されている。	4
5-26	課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	規程等が整備されており、学生が活動を希望す れば、支援はできる体制ができている。	3
5-27	学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	学生寮はなく、信頼のおける賃貸業者を紹介し、 対応している。また、校舎内に食堂を有してお り、食に対する支援を行っている。	3
5-28	保護者と適切に連携しているか	社会人の比率が高い。高校新卒者の入学生に対 し、次年度から、保護者説明会を計画している。 出席状況、成績等について、定期的に保護者に 通知を行い、連携に努めている。	3
5-29	卒業生への支援体制はあるか	同窓会組織が整備され、毎年、卒後研修会等を 積極的に実施している。	3
基準6 教育環境			
6-30	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されて いるか	委託業者により、施設等は適切に整備されてい る。	4
6-31	学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体 制を整備しているか	整形外科病院、老健施設、医療機関等との連携 を行い、臨床教育の整備に努めている。	3
6-32	防災に対する体制は整備されているか	規程等は整備されているが、防災訓練が定期的 に実施されていない。	3
基準7 学生の募集と受け入れ			
7-33	学生募集活動は、適正に行われているか	予算計画に基づき学生募集活動は実施されてい るが、残念ながら、定員が充足していない。	3
7-34	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	教育成果を国家試験合格率として、公表してい る。	4

7-35	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	入試管理会議を経て、適切かつ公正に実施されている	4
7-36	学納金は妥当なものとなっているか	学納金について、教育負荷率を考慮し、1単位あたりの授業料を算出している。また、既修得単位認定による学費減免を導入している。	4
基準8 財務			
8-37	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	昨年度に引き続き、帰属収支差額が赤字となり、学院経営として厳しい状況にある。	3
8-38	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	予算、収支計画は役員会を通じ、有効かつ妥当なもので計画されている。	4
8-39	財務について会計監査が適正におこなわれているか	財務について、学院として会計監査が適正に行われている。	4
8-40	財務情報公開の体制整備はできているか	学院として財務情報が公開されている。	4
基準9 法令等の遵守			
9-41	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	法令等を遵守し、適正な運営がなされている。	4
9-42	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	規程を設けて、対応されている。	4
9-43	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	授業評価アンケート及び卒業生見込者に対する学校評価アンケートを実施し、現状把握、問題点の改善に努めている。	3
9-44	自己点検・自己評価結果の公開はしているか	適正に公開されている。	4
基準10 社会貢献			
10-45	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	教員の派遣、施設の開放に継続的に取り組んでいる。また、社会貢献として、「吹田ボランティアフェスティバル」等に参加、附属治療所の啓発活動、市民公開講座、通学路の定期的な清掃活動等の社会貢献に取り組んでいる。 また、吹田市及び大阪市と「津波災害又は水害時における緊急一時避難施設としての使用に関する協定」の締結を行っている。	3